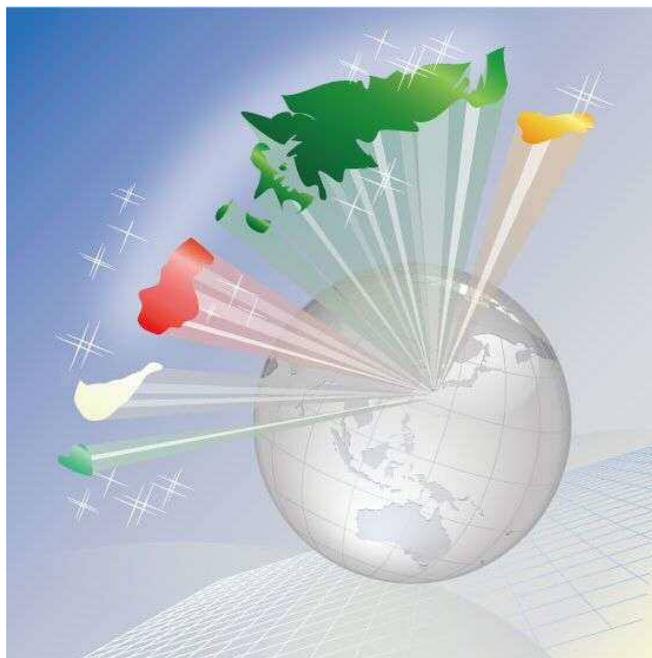


# 奄美群島成長戦略ビジョン 説明資料



ビジョン策定までの経緯と必要性について

奄振法延長とあわせた全体スケジュール

策定体制について

奄美群島成長戦略ビジョン概要

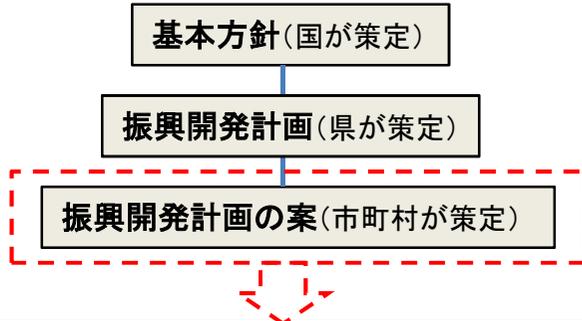
奄美群島広域事務組合

# ビジョン策定までの経緯と必要性について

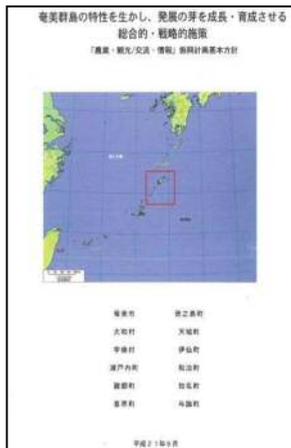
奄美群島広域事務組合

## これまでの地元市町村の取組

前回の奄振法延長時(平成21年)



奄美群島の特性を生かし、発展の芽を成長・育成させる総合的・戦略的施策「農業・観光/交流・情報」振興計画基本方針  
地元12市町村によって平成21年6月策定



- 「農業・観光/交流・情報」の3分野
- 計画期間は10年間(H21~H30)
- 数値目標を5年間で設定
- 事業の定期的評価をPDCAで実施
- 方針に基づく実施計画を5年間で策定

農業の6次産業化や奄美群島観光物産協会、奄美群島ICT協議会の設立など、地元市町村として3分野における産業振興に取り組んでいるところであるが、リーマンショック以降の世界的な経済不況や2カ年連続の豪雨災害などによって、数値目標の達成状況は低調となっている。

## 奄美群島成長戦略ビジョン策定の必要性について

### 奄振法60年が経過

道路、農業基盤等各種インフラ整備で一定の成果をあげている。情報インフラや農業基盤整備等まだまだ十分ではないものの、一方で自立に向けての萌芽がみられる。

### 今後さらに成長を促進させるため

基本方針や振興開発計画策定に、より地元市町村が**主体的**に関わることが求められる。…①

また、住民の日常生活圏の広がりや情報化の急速な進展などにより、市町村が取り組むべき政策課題はますます広がっており、様々な行政サービスを効率的・効果的に行うため、広域行政の重要性が増している。即ち、市町村単独の施策の展開から**群島一体となった施策の展開**へのシフトである。…②

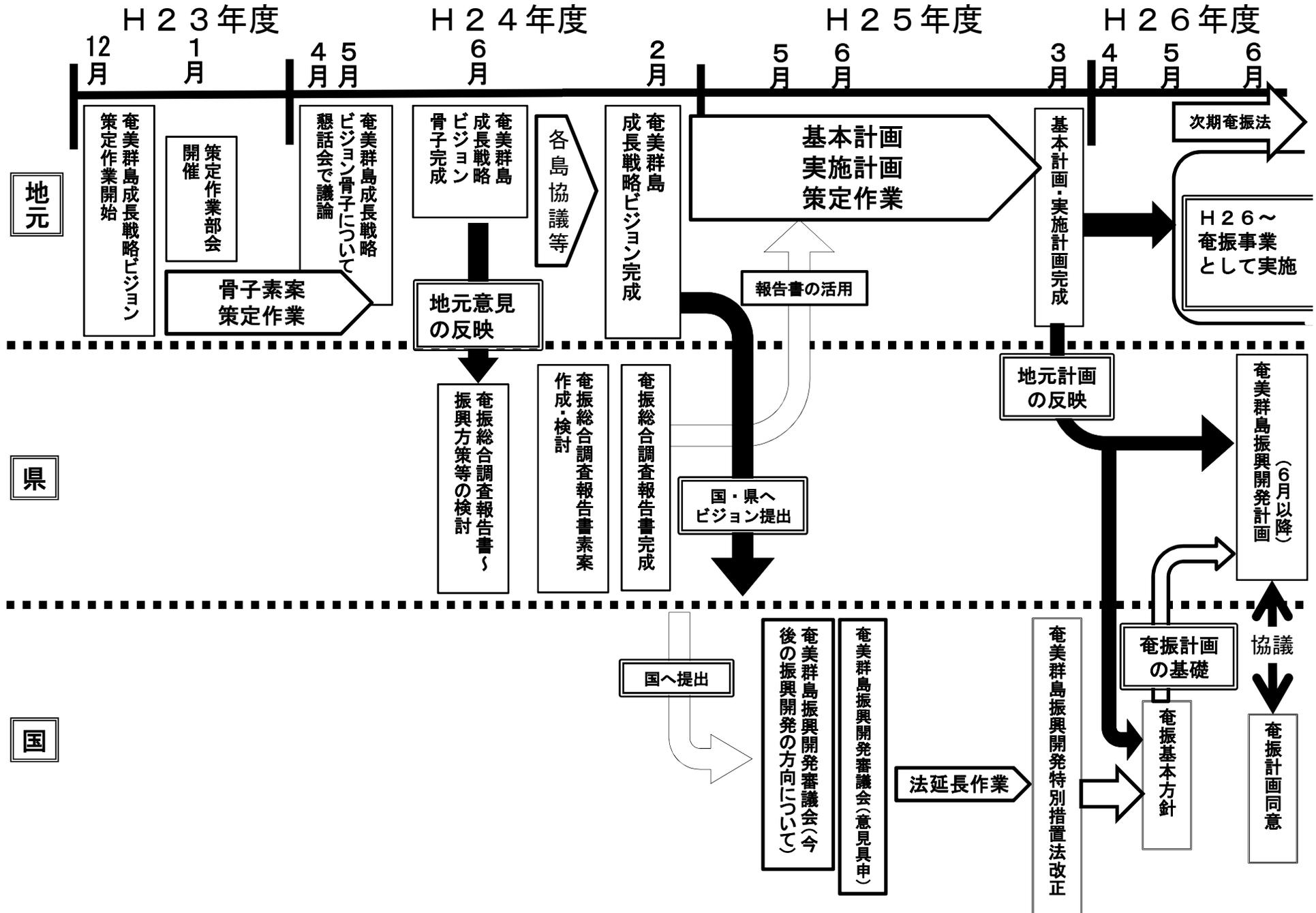
これら(①、②)を踏まえ、新たな奄美群島の成長を実現するためには、**地元市町村自らの手で将来の姿を描き、その責任のもと着実に施策を実行することが重要である。**

## 奄美群島成長戦略ビジョンの策定および実現に向けた計画の策定

地元12市町村長で構成される市町村長会(平成23年11月24日)において、奄美群島成長戦略ビジョンを策定することと、その事務局を奄美群島広域事務組合とし、同組合の体制についても強化することが了承された。

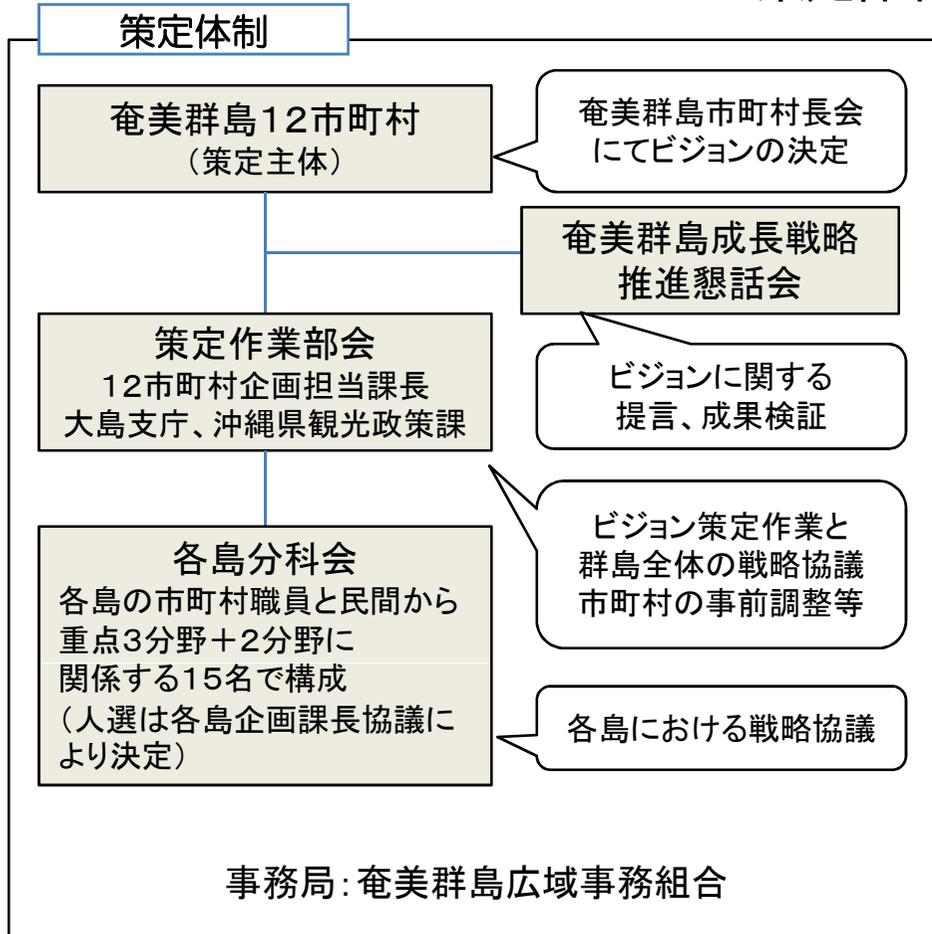
# 奄振法延長とあわせた全体スケジュール

奄美群島広域事務組合



# 策定体制について

奄美群島広域事務組合



## 奄美群島成長戦略推進懇話会について

### 【設置目的】

成長戦略ビジョンの策定にあたって、その内容に対して提言を行うとともに、策定後の定期的な成果検証に対しての提言を行うために、奄美群島成長戦略推進懇話会を設置する。(「奄美群島成長戦略ビジョンの策定について」H23.11.24市町村長会決定)

### 【構成】

座長: 原口 泉 (志学館大学教授)  
座長代理: 大城 肇 (琉球大学理事・副学長)  
有識者、各島代表市町村長、県・市町村議会代表、  
大島郡町村会会長、関係行政機関など 16名で構成

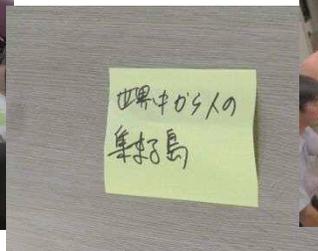
### 【開催実績】

- 第1回 (H24.4.20) ビジョン骨子素案について協議
- 第2回 (H24.5.19) ビジョン骨子に対する提言協議
- 第3回 (H24.11.18) 各島戦略に対する協議
- 第4回 (H25.1.18) ビジョン案、提言協議

※ 懇話会提言を踏まえて、H25.2.27開催の奄美群島市町村長会にてビジョンが決定。

## 各島分科会の開催状況について

2班体制のワークショップ形式で各島の『魅力・強み』『課題・弱み』を整理した上で『各島でやるべきこと』(=戦略)『戦略のゴール設定』『戦略の行動計画』などを協議



委員それぞれの意見を「ふせん紙」に書き出し、進行役を中心に分類・整理した後、班ごとに発表

# 奄美群島成長戦略ビジョン概要ー1

奄美群島広域事務組合

(平成25年2月27日奄美群島市町村町会決定)

## 基本理念

奄美群島成長戦略ビジョンは「**群島民が幸せに生活するため、重点3分野(農業、観光/交流、情報)を基軸として、雇用の創出に重点を置いた産業振興を目指す**」ことを基本理念と定め、その実現のために地元市町村は自らの手で将来の姿を描き、必要な施策を主体的に協働して、着実かつ効果的に施策を実施する。

## 奄美群島の将来像

ビジョンの基本理念が達成された将来の姿を群島民全体で共有するために、奄美群島が10年後にこうありたいと願う姿を3本柱で定めた。

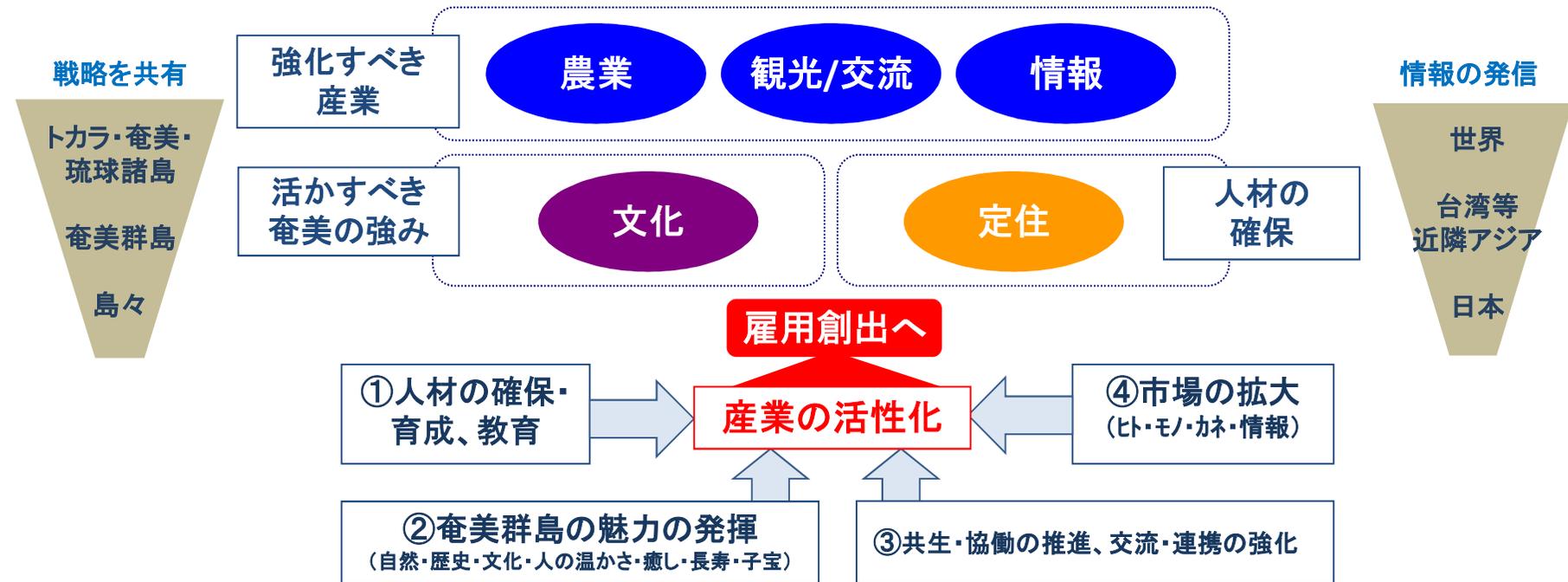
若者がチャレンジし、  
夢を実現する島

全ての「島ちゅ」が  
主人公として活躍する島

世界の人々に  
魅力を伝える宝の島

## 戦略の基本方針、基本方策

将来像を実現するための戦略の基本方針を、重点3分野+2分野における奄美群島一体となった広域的な取り組みと展開圏域の拡大と定め、さらに基本方針に基づく方策として、産業の活性化に向けた4つの柱を①~④のとおり定めた。



# 奄美群島成長戦略ビジョン概要ー2

奄美群島広域事務組合

(平成25年2月27日奄美群島市町村町会決定)

## 奄美群島全体、各島の戦略の基本方針

奄美群島全体と各島における『特性と戦略の方向』『基本方針』『戦略の達成度を評価する指標』をそれぞれに定めた。(以下は群島全体のみ抜粋)

### 【奄美群島全体の戦略の基本方針】

#### ○特性と戦略の方向

各島における多種多様な独自の文化、豊かで美しい自然、温かで明るく結いの心あふれる島民性  
総人口及び若年人口の減少と高齢化、知名度やブランド力の弱さ、航空運賃や輸送費など割高なコスト…各島共通の課題  
各島の魅力・個性のこれまで以上の磨き上げ、群島民が新たなチャレンジに取り組む機運の醸成、各島共通の課題解決  
奄美群島一体となって群島外の若者が奄美群島に定住したくなるための施策の推進

#### ○戦略の基本方針

- ①人材の確保・育成、教育…産業振興の中心的な役割を担う人材確保、中長期的な育成と教育
- ②魅力の発揮…各島の独自色を明確化して群島外へ発信・伝達するための総合的なプロモーションと、魅力のコンテンツの充実
- ③共生・協働、交流・連携…より多くの共同プロジェクト推進によるスケールメリットの発揮、世界自然遺産登録を見据えた連携
- ④市場の拡大…顧客本位の6次産業化、観光コンテンツの充実などによる群島全体のブランドの創造と強化

#### ○ビジョン全体の達成度を評価する指標

- ①生産年齢人口
- ②1人当たり所得推進
- ③起業数
- ④Dreams come true度

【奄美大島の戦略の基本方針】

【喜界島の戦略の基本方針】

【徳之島の戦略の基本方針】

【沖永良部島の戦略の基本方針】

【与論島の戦略の基本方針】

## ビジョンの実現に向けて

「奄美群島の自立的発展実現の主體的役割の担い手＝民間企業等」「民間企業を支え、積極的に支援する行政」を踏まえて  
官民それぞれに期待される役割や、その実現に向けた制度等について定めた。(一部抜粋)

### 1 民間

(事業所、NPO、個人など)

積極的主體的な事業展開  
イノベーションの創出  
島唄・島口の  
価値の再認識・継承 など

### 2 金融

(奄美群島振興開発基金)

一般金融機関の補完奨励  
民間事業所の  
金融面・経営面支援  
市町村等との緊密な  
連携強化 など

### 3 行政

(広域事務組合)

群島一元的な  
取り組み推進、支援、  
国、県、各種団体との  
連携、調整  
ビジョン等の進捗管理と  
評価 など

### 4 行政

(市町村)

きめ細やかな民間支援  
ビジョンの市町村実施計画  
への反映  
市町村間、広域との連携  
など

### 5 行政

(国、県)

地元との一体的な  
事業展開  
地元行政の取り組み支援  
奄振法の充実・強化  
交付金、特区 など